



# 令和3年度放射線安全取扱部会年次大会 (第62回放射線管理研修会)のお知らせ(3)

令和3年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

令和3年度放射線安全取扱部会年次大会は九州支部が担当します。

本大会の概要を以下に記載いたします。

## 年次大会概要

- 開催日：令和3年10月28日(木)、29日(金)
- 会場：Web
- テーマ：実践しましょう！“正當にこわがる”ことを

参加費	事前登録のみ*1
年次大会	一般 6,000円 学生会員 2,000円*2

※1 カード払いのみ大会前日まで登録可能です。

※2 学生会員は、入会にあたり年会費として1,000円を申し受けます。

## プログラムのハイライト

### 【1日目】

#### ●特別講演1「最近の放射線安全規制の動向」

(10月28日 11:00~12:00)

水晶体被ばく線量の測定が始まりました。予防規程の改正等を行い各事業所では改正法令下での規制が始まっています。コロナ禍における対応や今後の運用が気になるところです。最新の放射線安全規制の動向を原子力規制庁の放射線規制部門の担当官の方に解説いただきます。

#### ●シンポジウム1「福島原発事故から10年 その現状とわかったこと」

(10月28日 13:10~14:50)

まず、事故後の除染とその効果、除染廃棄物の中間貯蔵施設での現状紹介。続いて、環境中に放出された放射性物質の農作物等への移行とそれによる人体影響についての最新研究紹介。更に、福島原発施

設内での、処理水の現状と被ばく低減の対策について、それぞれご紹介いただきます。放射線安全管理者の目線から正しい情報を習得したいと思います。

- (1) 福島環境再生事業について(仮題)
- (2) 農業環境における放射性セシウムと作物摂取による内部被ばく線量
- (3) 福島第一原子力発電所の現状と処理水の管理
- (4) 作業者の被ばく低減の経験

#### ●シンポジウム2-1「コロナ禍や法令改正に対する放射線施設のチャレンジング」

(10月28日 15:00~17:00)

ポスター発表として実施してきた放射線安全管理に係る事例紹介等を、Web大会であることから口頭発表で実施します。各事業所で行われているコロナ禍における放射線安全管理や法令改正に対する対応事例等を紹介いただき、ノウハウの共有あるいは共同開発のきっかけとなることを期待しています。チャレンジング賞対象はこの時間帯で発表いただき、閉会時に発表します。

- ・施設管理(従事者登録の一元管理等)
- ・教育訓練(VR等)
- ・コロナ対応

### 【2日目】

#### ●シンポジウム3「知識の伝承—放射線施設のライフプラン—」

(10月29日 9:30~11:00)

企画専門委員会企画：「放射線施設・設備に関する知識の伝承」シリーズとして、アイソトープニュースの主任者コーナーに連載された話題から、放射線施設の新築、改築、廃止に関する事例を紹介していただきます。シンポジウムでは、紙面で紹介できなかった事例も含めて経験談を紹介していただく予定

です。

- (1) (新築) 放射線施設の建設
- (2) (改築) 放射線施設の改修工事
- (3) (廃止) RI施設の終末をどうするか

●特別講演2「熊本地震から5年～どのようにすれば災害・教訓を伝え続けられるか～」

(10月29日 11:10～12:10)

平成28年4月に熊本地震が発生して5年、被災地の復興を進める中、令和2年7月豪雨による河川の氾濫や土砂災害によって、熊本県南地域を中心に再び甚大な被害に見舞われました。熊本地震から5年、その現状と分かったことについて熊本大学の松田博貴先生にご講演いただきます。現状及び今後の減災対策についても併せてご紹介いただく予定です。

●特別講演3「超免疫不全マウスの生命科学研究への活用」

(10月29日 13:00～14:00)

熊本大学の岡田誠治先生は、熊本大学エイズ学研究センターにおいて「エイズの病態解析とワクチン等の治療法の開発」を目的に研究活動を始められました。本講演では最新のウイルス疾患・自己免疫病等の研究成果を、放射性物質を利用した研究についても織り交ぜながらご紹介いただきます。

●シンポジウム2-2「コロナ禍や法令改正に対する放射線施設のチャレンジング」

(10月29日 14:10～16:10)

ポスター発表として実施してきた放射線安全管理に係る事例紹介等を、Web大会であることから口頭発表で実施します。部会の報告事項等(分科会、専門委員会、支部等)も含みます。

- ・線源管理

- ・施設管理
- ・被ばく管理
- ・分科会
- ・委員会
- ・その他

●相談コーナー

10月28日 12:10～13:00

10月29日 12:20～13:00

申込受付期間：9月1日 10:00～30日 15:00

放射線管理業務における疑問やお困りごと等について、個室にてご相談をお受けいたします。事前申込制で、放射線管理・安全取扱、法令、RI供給・廃棄等幅広い分野に対応できます。

●機器展示

年次大会サイトのトップページに放射線関連サービス会社、製品メーカーによるバナー広告等を掲載します。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です。

●Web交流会

10月28日 17:30～19:00

参加者が一堂に会し、情報交換を行うことができます。ブレイクアウトルームを利用して、特定のグループ(各支部、分科会等)での利用も可能です(グループは事前登録制)

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会 学術課

☎ 113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

☎ 03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail nenjitaikai@jrias.or.jp



## 令和3年度放射線安全取扱部会年次大会（第62回放射線管理研修会）

日 時：令和3年10月28日（木）9：30～29日（金）16：30

会 場：Web 開催

交流会：Web 開催

## プ ロ グ ラ ム

## 1日目 10月28日（木）

9：30～10：20（50）	開会・部会総会
10：20～10：50（30）	放射線安全取扱部会 表彰式 （功勞表彰・放射線安全管理奨励賞）
11：00～12：00（60）	特別講演 1 「最近の放射線安全規制の動向」 深野重男氏（原子力規制庁） 座長 杉原真司氏（九州大学）
12：00～13：10（70）	昼食休憩（相談コーナー 12：10～13：00）
13：10～14：50（100）	シンポジウム 1 「福島原発事故から10年 その現状とわかったこと」 （1）福島環境再生事業について（仮題） 未定（福島地方環境事務所（予定）） （2）農業環境における放射性セシウムと作物摂取による内部被ばく線量 塚田祥文氏（福島大学環境放射能研究所） （3）福島第一原子力発電所の現状と処理水の管理 山中和夫氏（東京電力ホールディングス（株）） （4）作業者の被ばく低減の経験 石原 哲氏（大成建設（株）） 座長 藤淵俊王氏（九州大学）
14：50～15：00（10）	休憩
15：00～17：00（120）	シンポジウム 2-1 「コロナ禍や法令改正に対する放射線施設のチャレンジング」 ・施設管理（従事者登録の一元管理等） ・教育訓練（VR等） ・コロナ対応 座長 阿部利明氏（産業医科大学）
17：00～17：30（30）	休憩
17：30～19：00（90）	Web 交流会

2日目 10月29日(金)

<p>9:30~11:00 (90)</p>	<p>シンポジウム 3  「知識の伝承－放射線施設のライフプラン－」  (1) (新築) 放射線施設の建設  乗物丈巳氏 ((株)竹中工務店)  (2) (改築) 放射線施設の改修工事  庄司美樹氏 (富山大学)  (3) (廃止) RI 施設の終末をどうするか  三好弘一氏 (徳島大学)  座長 渡部浩司氏 (東北大学)</p>
<p>11:00~11:10 (10)</p>	<p>休憩</p>
<p>11:10~12:10 (60)</p>	<p>特別講演 2  「熊本地震から5年～どのようにすれば災害・教訓を伝え続けられるか～」  松田博貴氏 (熊本大学)  座長 伊藤茂樹氏 (熊本大学)</p>
<p>12:10~13:00 (50)</p>	<p>昼食休憩 (相談コーナー 12:20~13:00)</p>
<p>13:00~14:00 (60)</p>	<p>特別講演 3  「超免疫不全マウスの生命科学研究への活用」  岡田誠治氏 (熊本大学)  座長 山内基弘氏 (九州大学)</p>
<p>14:00~14:10 (10)</p>	<p>休憩</p>
<p>14:10~16:10 (120)</p>	<p>シンポジウム 2-2  「コロナ禍や法令改正における放射線施設のチャレンジング」  ・線源管理  ・施設管理  ・被ばく管理  ・分科会  ・委員会  ・その他  座長 尾上昌平氏 (鹿児島大学)</p>
<p>16:10~16:30 (20)</p>	<p>大会のまとめ, チャレンジング賞発表  次回大会紹介  閉会</p>